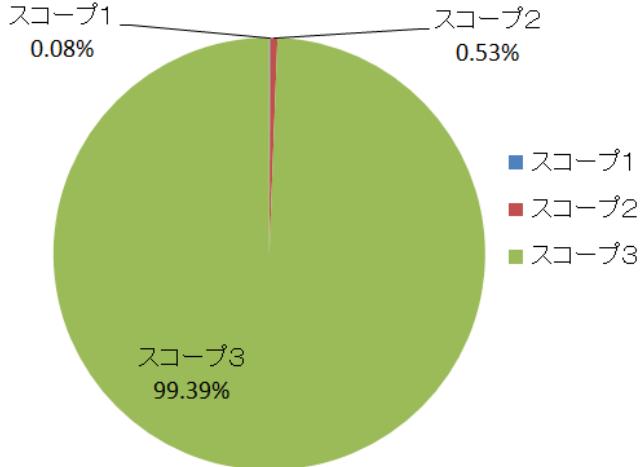
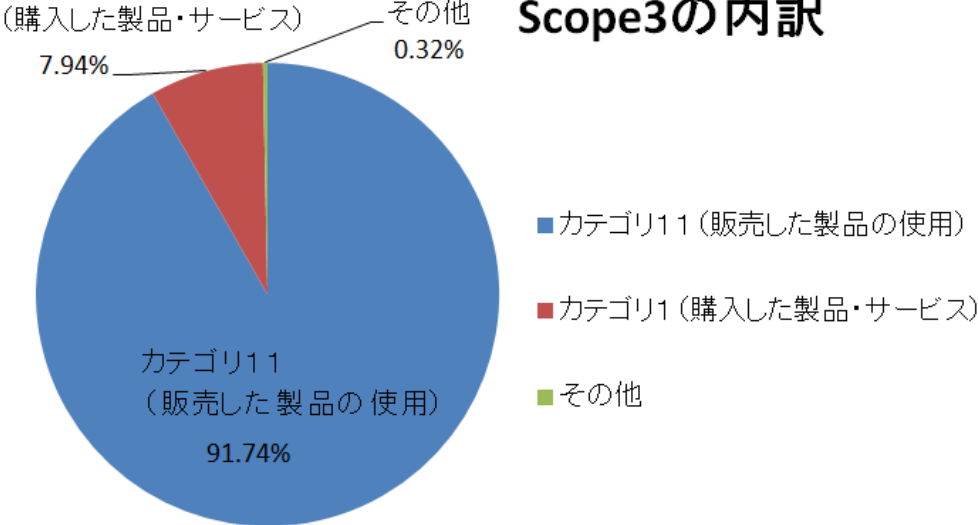


ウシオ電機株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：電気機器製造業● 事業概要：光応用製品事業ならびに産業機械およびその他事業● 事業規模：連結売上高 173,497百万円 従業員数 グループ合計 5,847名
2.削減目標	<p><Scope 1 + 2 の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>目 標 2030年に2017年比で21%削減 取り組み 再生エネルギーの導入、省エネ活動</p> <p><Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>目 標 2030年に2017年比で21%削減 取り組み 環境配慮型製品の開発</p>

ウシオ電機株式会社

項目	内容									
3.基準年のGHGインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 <p>Scope1・2・3の割合</p>  <table border="1"> <caption>Scope 1・2・3の割合</caption> <thead> <tr> <th>Scope</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スコープ1</td> <td>0.08%</td> </tr> <tr> <td>スコープ2</td> <td>0.53%</td> </tr> <tr> <td>スコープ3</td> <td>99.39%</td> </tr> </tbody> </table>	Scope	割合	スコープ1	0.08%	スコープ2	0.53%	スコープ3	99.39%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 5,346 [tCO2]
	Scope	割合								
	スコープ1	0.08%								
スコープ2	0.53%									
スコープ3	99.39%									
<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 36,029 [tCO2] 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 36,029 [tCO2] 									
<ul style="list-style-type: none"> ● Scope3の内訳  <table border="1"> <caption>Scope3の内訳</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カテゴリ11 (販売した製品の使用)</td> <td>91.74%</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ1 (購入した製品・サービス)</td> <td>7.94%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.32%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	割合	カテゴリ11 (販売した製品の使用)	91.74%	カテゴリ1 (購入した製品・サービス)	7.94%	その他	0.32%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : 6,764,756 [tCO2] 目標の対象セクター : カテゴリ11 6,205,733[tCO2] 	
Category	割合									
カテゴリ11 (販売した製品の使用)	91.74%									
カテゴリ1 (購入した製品・サービス)	7.94%									
その他	0.32%									

ウシオ電機株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none"> ● 化石燃料や炭素税、再エネ賦課金の上昇などコストアップのリスクが大きい ● エネルギー使用に関わる法規制の強化のリスクが大きい ● 生産のためのエネルギーを削減することで、結果的にコストダウンとなり、製品の競争力が強化される ● 環境配慮型製品や技術革新により、他の製品との差別化を図ることができる。結果として製品の競争力が強化される
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> ● 中期計画策定の時期でもあり、改めて中期的視点での取り組みを考えるうえで、2030年目標の設定はその意義も含めて理解を得やすかった。さらに、電源構成ロードマップが示されていたことから、自社の努力目標も明確にすることができた。

ウシオ電機株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"> ● CSR部門および課題別委員会で目標案を検討し、社長が委員長を務めるCSR委員会で審議。承認を得た後、SBTiに提出。 ● Scope 1 + 2の目標設定や達成に向けての活動は、この分野を担当する地球温暖化対策委員会とすり合わせを行った。 ● Scope3の目標設定や達成に向けての活動は、この分野を担当するグリーンプロダクト委員会とすり合わせを行った。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1 + 2の削減のためには、再生可能エネルギーの導入が不可欠だが、グループとしての導入計画を組み込んだ削減目標達成シナリオを策定する。 ● Scope3のカテゴリ11の削減目標の達成のために、技術的な課題解決と共に、ニーズも注視していく。